

警報と注意報



● 警報(特別警報)・注意報ってなんだろう？

気象庁は、大雨や強風などによって災害が発生するおそれのあるときは「注意報」を、重大な災害が発生するおそれのあるときは「警報」を、さらに、重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときは「特別警報」を発表して注意や警戒を呼びかけます。警報は、原則として重大な災害の発生が予測される3～6時間前に発表されますので、警報が発表されたら、災害に備えましょう。

特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨となる大雨、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合などに発表される気象情報です。

特別警報

警報

注意報

大雨になる
おそれ
雨が降り出す



防災気象情報の種類

種類	情報の種別
特別警報	大雨(土砂災害、浸水害)、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
警報	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注意報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪

ハザードマップ

防災 減災



●災害が発生する危険度を示した地図を ハザードマップといいます！

洪水ハザードマップ



岐阜市

大雨や台風などで川があふれることにより発生
する洪水に備えるための地図です。
浸水が予想される場所や水の深さ、避難所等が
示されています。

土砂災害ハザードマップ



下呂市

大雨や台風などにとまなう土砂災害に備える地図
です。
がけ崩れ、地すべり、土石流といった土砂災害の
危険範囲が示されています。

●ハザードマップを見てみよう！



洪水と土砂災害のハザードマップを同時に確認する
ことができます。お住まいの地域の郵便番号を入力
すると、自宅周辺を確認することができます。



全国の各市町村が作成したハザードマップを確認
することができます。

土砂災害



岐阜県は県土の約8割を山地が占めており、
地形的・気象的な条件によって、
土砂災害が発生しやすい環境にあります。

「土砂災害」の特徴



土石流の速さは
規模によって異なりますが、
時速40～50kmもの速度で
一瞬のうちに人家や畑などに
襲いかかります。

がけ崩れは、突然起きるため、
人家の近くで起きると
逃げ遅れる人も多く、
死者の割合も高くなっています。



地すべりは、
比較的ゆるい斜面が
地下水などの影響で
広い範囲にわたって動きます。

土砂災害警戒区域



●土砂災害警戒区域を確認しましょう

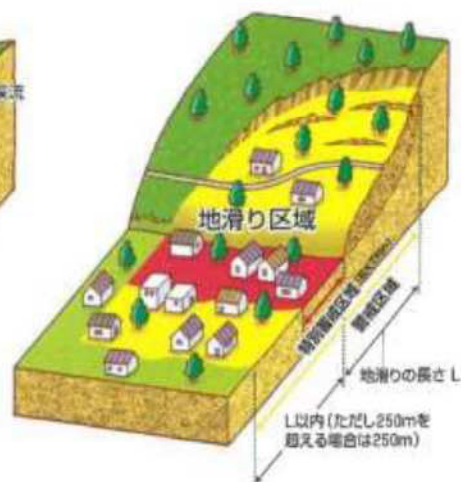
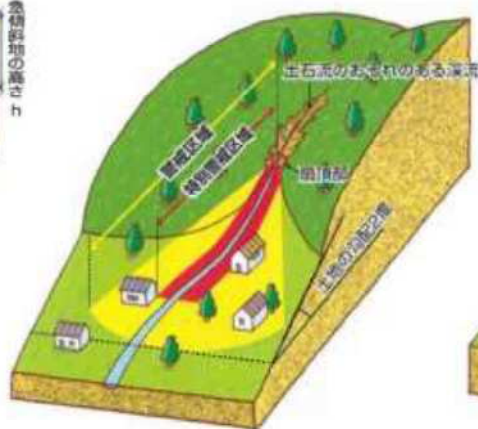
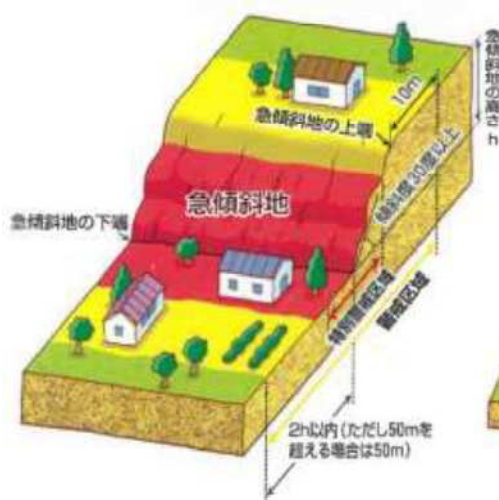
「土砂災害警戒区域」は土砂災害のおそれが高い区域です。

こんな場所が区域指定の対象となります

がけ崩れ

土石流

地すべり



●お住まいの地域の状況を確認する

ぎふ山と川の危険箇所マップ
あなたの地域は安全ですか？危険な箇所を調べましょう。

土砂災害 土石流 地すべり

郵便番号を入力してください。

郵便番号がわからない場合は、こちら。

住所で検索 経路指定で検索

山と川の危険箇所
(土砂災害警戒区域と浸水想定区域)

山の危険箇所
(土砂災害警戒区域)

川の危険箇所
(浸水想定区域)

マップが表示される地域の利用にあたっては、[利用規約](#)をお読みください。
マップの著作権等については、[著作権関係](#)をお読みください。

山の危険箇所とは
「山の危険箇所」とは、県が公表している土砂災害危険箇所、新たに土砂災害防止法に基づき指定した土砂災害警戒区域のことです。なお、土砂災害警戒区域の指定が完了していない地域については、従前の土砂災害危険箇所を表示しています。

川の危険箇所とは
「川の危険箇所」とは、河川管理が公表している洪水浸水想定区域のことです。洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に浸するおそれがある区域のことです。

※このサイトで公開している区域は、近マニアルに準じたものです。現在、平成27年度のマップの改訂に基づく見直し作業が実施中です。

詳しくはこちら

あなたのお住まいの地域には、土砂災害や浸水のおそれのある箇所はありませんか？
郵便番号を入力して、危険な箇所を調べましょう！

ぎふ山と川

検索



風水害への備え



- 水害時に発表される警報などの種類を知り、適切な避難につなげましょう。

「警戒レベル4」で全員避難！ これが「命を守る」防災気象情報

市町村が出す警戒レベルで確実に避難しましょう
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を
参考に自主的に早めの避難をしましょう

名称:警戒レベル 発信者:市区町村等
内容:避難情報等

名称:警戒レベル相当情報
発信者:気象庁や都道府県等
内容:河川水位や雨の情報

警戒 レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
			浸水の情報(河川)		土砂災害の情報(雨)
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
4	危険な場所から 全員避難	避難勧告 避難指示(緊急)	4 相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相当	氾濫注意情報	—
1	最新情報に注意	早期注意情報	1 相当	—	—

近年の気象状況では、台風や集中豪雨によって甚大な被害がもたらされる可能性が高まっています。そのため、「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、市町村から「警戒レベル3」が発令されたら速やかに避難行動をとりましょう。「警戒レベル4」は全員避難で、「命の危険が迫っている」という警告です。

災害・避難カード



「洪水・土砂災害にあなたと地域が備える」
防災ガイドブックと一緒に見てみよう！



災害時に、「自分の命は自分で守る」ためには、
一人ひとりが、あらかじめ早めの避難手順を考えることが重要です。
災害・避難カードは、自宅の周りの災害の危険性や危険箇所、
避難のタイミング、避難先などを調べてまとめるカードです。
家族、親せき、友達、ご近所、ヘルパーさんなど、
みんなで一緒に作ってみよう！

「我がこと」として考え、

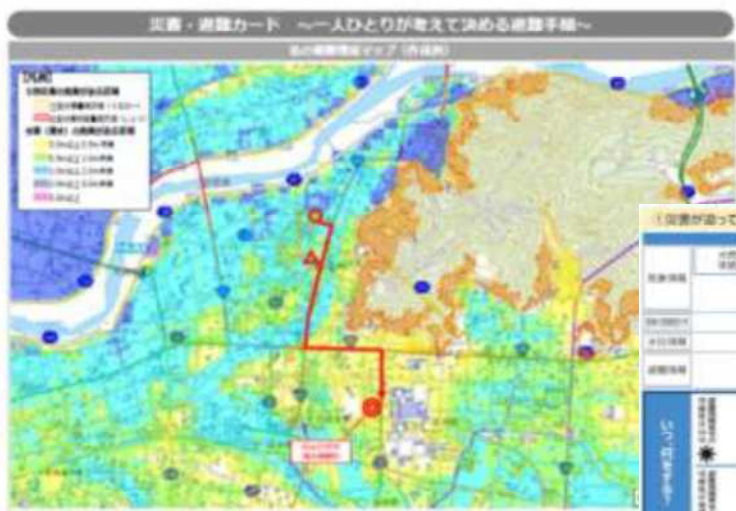
ためらわず行動！



災害・避難カード



関市での災害・避難カード作成講座の様子



災害・避難カード作成手順			
1. 災害が起きていることを認識する。	2. 情報をとまめに確認して避難の手順をする。	3. 避難を開始する。	4. 避難を完了する。
災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。
災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。
災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。
災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。	災害発生時、ラジオやテレビ、防災メールなどで災害情報を確認する。

(令和2年9月4日時点)

②土砂流出
(高山市・国道158号)



①路側崩壊
(高山市・国道471号)



③路側崩壊 (高山市・乗鞍公園線)



④土石流(高山市滝町)



⑤護岸崩壊
(下呂市・飛驒川)



⑦道路崩壊
(下呂市・国道41号)



⑧斜面崩壊
(郡上市・奥田洞谷)



⑩浸水被害
(白川町・白川)



⑪突風被害(八百津町)



⑫倒木被害(瑞浪市)



⑬農地被害
(高山市滝町)



⑥土石流
(下呂市・高天ヶ原谷)



⑨鉄道被害(下呂市)

